

# 三遊亭らん丈 後援会会報

## 『二〇〇〇年地方自治元年』 三遊亭らん丈

ぼくは昭和三十四年、西暦でいえば一九五九年生まれですから、今年四十四歳になります。

その四十四年の長くはありませんが、決して短くもない来し方のうちには、歴史的な事件がいくつかありました。以下に、ぼくに与つての事件のいくつかを綴ってみましょう。

まずはなんといっても、一九六四年の東京オリンピック。幼稚園から帰宅すると、テレビの前に陣取り見入ったものでした。特に記憶に残っているのは、重量挙げ三宅義信選手の活躍ぶりですが、子どもながらに随分と好みがいしかったものです。

次は一九六九年七月のアポロ十一号による月面着陸です。夏休みのその日暑さも忘れ、息を詰り目を凝らし、テレビ画面に見入った

ものです。それを最近では、あれはNASAによるペテンとする言説が喧伝されていますが、まさかねえ。ならば世界中の人間が、まふまふ騙されたわけです。

こんな具合に挙げていけば、それだけでこの稿を終えなければならず、それは本稿の目的ではないので、ジャンルを政治・行政に絞ります。

すると先ず、一九七二年の田中角栄内閣成立を挙げたいのです。それは国民に強烈なインパクトを与え、学歴がなくとも首相になれることを体現した田中は、当時のマスコミにより「今大閥」と囃し立てられたものです。ところが、それが一転したのが、立花隆による金脈追求記事でした。それがもとで、田中内閣は潰れ、遂には一九七六年ロッキード事件によ

り田中は逮捕されてしまったのでした。まさに栄耀栄華の極みから一転、被告人になるといふ劇的な生涯を送ったのでした。

これは外国で起こったことですが、一九九一年におけるソ連邦の解体と消滅も鮮烈なものでした。ソ連がなくなるなんて、その十年前にいったいだれが予想しえたでしょうか。つまり、社会では予想もしないようなことが実際に起きることを、まさまじく見せつけられたのでした。

次は、一九九三年の細川護国非自民連立内閣の成立でした。国民はすでに自民党内閣に飽き飽きしており、その直前の総選挙でそれに對し、ノーという刃を突きつけたのでした。

けれど、首班を細川にした内閣が成立するとは、おおかたの日本人は予想していませんでした。これもまさに、想定しなかつた事態が現実に起こってしまった、との感を受けました。そして、やってきたのが二〇〇〇年四月一

2003年3月1日発行  
第18号 頒価100円  
三遊亭らん丈後援会  
【URL】<http://www.ranjo.jp/>  
E-mail:machida@ranjo.jp  
TEL 042(732)2004  
FAX 042(732)2005

日でした。

我々は戦後、日本国憲法を獲得し、そこで初めて第八章に、「地方自治」を織り込んだのでした。ところが実態は、国と地方は「上下・主従」関係であり、「対等・協力」には程遠いままでした。それが、この日から施行された地方分権一括法によって、地方公共団体は、それまで国の下部機関とみなされ、機関委任事務という仕事をさせられてきましたが、それは廃止され、地方公共団体が自ら裁量できる自治事務と、国が実施方法まで定める法定受託事務とに分けられるようになったのです。

あるいは、地方税法にない法定外普通税の新設は自治大臣(当時)の許可が必要でしたが、事前協議制に変わり、新税が作りやすくなったのです。そのうえ、環境の保全など税収の用途を定めた法定外目的税も創設され、地方公共団体の課税自主権が拡がりました。

つまり、地方分権一括法が施行されたことにより、いままでも金太郎飴のように、全国一律で他市町村とさほど代わり映えのしない政策しか提案しなかつた各政府、地方公共団体、それぞれ独自の施策を提案することができるようになったのです。

と云いつては、その属する政府の長や議会や職員の優劣によって、住民の住み心地に著し

い差が生じるようになったのです。

たとえば、山口県のある村ではなんと、二四時間にわたって図書館が開館しているのです。都会では警備等の問題はありますが、ぼくのような本好きには魅力的なサービスです。

また、愛知県の犬山市では小中学校の全年で三十人以下の少人数学級を導入し、二〇〇四年度から実施します。

東京都の杉並区では、学校の校庭全面を芝生で覆うところも出てきました。

埼玉県の志木市では、市道の約四分の一を交互通行から一方通行に改め、空いた片側にゆったりとした歩道を確認することにしましたし、なんと、正規の市職員を二〇一六年度までに現在の半数近くに減らす計画をまとめました。退職者分には有給の市民ボランティア「行政パートナー」で補充するため、雇用も創出され一石二鳥の効果があります。

その結果、年間の人件費は現在の三九億円から二六億円に圧縮できると試算しています。

そのお隣、新座市では市民が市役所の窓口で待たなくてもすむように、市民課は「お客様用携帯受信機」を手渡し始めました。これを持ち歩けば、離れた場所においても、受信機の音や振動で住民票などの交付の順番がきたことが分かるのです。

これらは、ほんの一部に過ぎませんが、このように各政府では、少しでもその地域を住みやすくするために、様々な施策を講じるようになったのです。

こうなれば住民も、自分にとって望ましい地域を選択するという「足による投票」を行使するようになるでしょう。

つまり、住む場所により幸福度に顕著な違いが現れる時代へと、二〇〇〇年四月一日をもって突入したのです。

## 『一九九八年三月NPO法成立』三遊亭らん丈

NPO法とは、一九九八年(平成十年)三月衆議院において全会一致で可決、成立し、同年十二月一日より施行されている「特定非営利活動促進法」のことです。

当初、同法は「市民活動促進法」と命名する案もありましたが、元労働大臣村上正邦(現被告)によって、市民の二字が葬られたのです。

「ここで少し脇道にそれ、市民」という言葉に触れたのです。そもそも、市民という概念は、皆様ご存知のように日本に古来からあるものではなく、西洋によってもたらされた思想から来たものであり、それは、citizenを和訳したものです。そして、「この市民とは本来共和国国民の意でした。ところが、日本における市民は、むしろ王国や帝国の国民であるsubjectとして与えられている政治家がいるのではないのでしょうか。」

だから、ドイツ・クント社発行の『ジュアル大事典世界の国々』掲載の日本を説明する項目に、「立憲君主国」との記載があるのでしよう。

日本国憲法第一章第一条に「主権の存する日本国民」とあるとおり、日本はほくなが言つまでもなく、「立憲民主国」です。

話が横道に逸れましたが、NPOに関心をもたれるきっかけは、平成七年一月の阪神淡路大震災でした。

そのあまりの惨状に、延べ百万人を超えるボランティアが参集したのですが、その方々を行政による指示系統だけに依存しては、もはや有効に機能させることは不可能だったのでした。理由としては、たとえば、行政地域を越えての指示はできないという、地域主義による

弊害が挙げられます。

それを克服する手段として、NPOが組織され、充実した活動を展開したのでした。

なにもNPOが活躍する舞台は大規模災害だけではありません。

社会構造が複雑化してくると、このように行政やあるいは企業による対応だけでは、その処遇に困る問題が数多く発生してきます。

それに対するひとつの解として、NPOやNGOが組織されるようになったのです。

そもそもNPOとは、Non Profit Organization(Not for Profit (but for mission) Organizationの略称です。NGOはNon Governmental Organizationの略称で、これは国連が命名したものです。

NPO法ができるまでは、NPO=非営利団体は任意団体、つまり「権利能力のない団体」として活動するしかなかったため、たとえば、電話を開設するにしても団体登録は認められず、個人(たいていは団体の代表者)登録という具合に、制約された活動しかできなかったのです。それが、NPO法が制定されたことにより、NPOに法人格が与えられました。こうして、非政府組織(NGO)も含めたNPOを、政府が認定するという宿願が十分に果たされることになったのです。

具体的な特定非営利活動には、社会教育の推進を図る活動、文化・芸術・スポーツの振興を図る活動、男女共同参画社会の形成を図る活動、子どもの健全育成を図る活動等が含まれます。

もちろん、NPO活動が右記の事項に限定されることはなく、じつは様々な分野でいまま実際に活躍しています。

たとえば、札幌市白石区では「市民情報センター」の運営をNPOに任せました。これは、同市の公共施設では初めての試みだそうです。

また、愛知県高浜市では、それまで市職員三人で行っていた中央公民館の受付、警備を今年度からNPOに委託したところ、市直営時より四割安い予算でまかなえるようになり、そのうえ、夜間パトロールのサービスまで付帯されたそうです。

横浜市旭区にある市立不動丸小学校では、校庭に敷き詰めた芝生の草刈、水撒き、補修といった管理を、だれに任せるかが、悩みの種だったそうですが、地域の九つのサークルが「やります」と名乗りをあげたそうです。

そもそも同市での校庭芝生化は、まだ実験段階で二校目だそうです。中田宏市長は、「地域の人たちが一緒に管理してくれない限り、

芝生を植えるわけにはいかない」と、住民参加を条件にしています。

また、同市長は「行政が御用聞きし、税金を集めてサービスする時代は終わり。『自分たちの町をどういふふうにしていきたい』と住民が声を上げ、担ってもらえるメニューと一緒に考えていくことが、自治体には必要だ」とも発言しています。

こうして、住民が日々の暮らしに必要と考える公共サービスを自ら「創る」動きが始まっています。これは、行政に任せきりにする「受け身」からの脱却といってもいいでしょう。

あるいは、らん丈の母校立教大学と大学院における二〇〇二年度三六八七開講科目のうち、NPOやNGOに関する科目が七八にものぼっていることから、いかにNPOが広く日本の社会に浸透しているかが、分かるというものです。ちなみに現在、公益法人(財団法人や社団法人)は約二万六千あるのに対し、NPO法人は約一万にすぎず、しかしそれは増えつつあり、らん丈自身もあるNPOの設立に携わっています。(資料参考 暫新簡二〇〇二年十二月)

『ホームページ開設のお知らせ』

落語会のお知らせや趣味の俳句、大学の授業で発表したレポート、某誌に連載中のエッセイ等を掲載しておりますので、どうぞアクセスしてください。メールアドレスの配信もしていますので、是非ご登録下さい。  
<http://www.ranjo.jp/>

「どししまシヨウ」のご案内

三月二十二日 午後六時半開演  
池袋演芸場(左図参照)にて 前売:千八百円

PGA(米国プロゴルフ協会)ツアーは昨年七千万ドル(約八十四億円)のチャリティーを集め、米ゴルフ界全体となると、なんとチャリティーの総額は三十億ドル(約三千六百億円)に達したそうです。

ちなみに約四十万人を数える、町田市の平成十四年度予算の総額は約一千億円で、いかにこの金額が大きいものか、お分かりいただけただことだと思います。

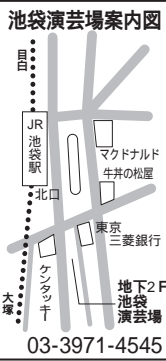
それに対して、日本ゴルフツアー機構によると、日本ツアーが昨年集めたチャリティーは、五千四百万円です。つまり、米ツアーは日本ツアーの約一五五倍のチャリティーを集めたこととなります。

欧米社会には元々、ノブレスオブリージュ(高い身分に伴う義務)が基本的な道徳感として根付いているためですが、それにしても、これほどの彼我の違いは何に由来するのでしょうか。

チャリティーとはそもそも、行政に頼ることなく互助の精神を発揮した、民間のセルフティーネットです。つまり、NPOとは同根の意思に根ざすものではないでしょう。

それならば日本でも、近世において普及した頼母子講や無尽がありました。それがいつの間にも消失してしまったのです。

そんなことを考えつつ、当日はゲストをお迎えするつもりです。



次回は七月二十六日(土)・次々回は十月三十日(木)を予定しております。

「三遊亭らん丈」後援会入会要項

入会金(会員証作製費+郵送料)として入会者全員から二千円申し受けます。

年会費は四千円ですが、池袋演芸場で行う『どししまシヨウ』の入場券(二千円相当)を年間で二枚(四千円相当)差し上げます。

★入会金二千円+年会費三年分一万二千元  
一万八〇〇円、合計二二、八〇〇円

年会費を三年分前納して下さった方には、10%割引させていただきます。

★入会金二千円+年会費二年分八千元 七六〇〇円、合計九、六〇〇円

年会費を二年分前納して下さった方には、5%割引させていただきます。

★入会金二千円+年会費一年分四千元、合計六、〇〇〇円

振込先口座

郵便振替口座 00110011730458

加入者名・三遊亭らん丈後援会

《東京三菱銀行・町田支店》

普通預金・1897690 三遊亭らん丈

《みずほ銀行・町田支店》

普通預金・8046459 三遊亭らん丈

《三井住友銀行・町田支店》

貯蓄預金・7264788 三遊亭らん丈

《UFJ銀行・町田支店》

貯蓄預金・1096152 三遊亭らん丈

《イーバンク銀行》 <http://www.ebank.co.jp/>  
支店番号 209・口座番号 13933592  
【E-mail:machida@ranjo.jp】